

令和3年度 公益財団法人 吉野川紀の川源流物語 事業計画書

流域をはじめ都市部の人々と水源地域を結び、もってそれらの人々の公共利益に寄与することを目的として、吉野川・紀の川の源流部を拠点に、その自然的価値、文化的価値を大切にし、流域をはじめ都市部の人々にこれを伝え、共に考え、行動するため、体験学習・交流活動を通じて、広く啓発や環境教育に関する事業を行います。そして、これに必要な拠点施設や関連公共施設の維持管理・運営に関する事業を行い、源流域の自然環境保全活動に努めます。

前年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に準じて、例年より規模を縮めた活動を余儀なくされながらも、オンラインやリモートを活用した新しいかたちにも積極的に取り組むことで、つながりが強化できた事例もできました。それらは新年度も継承しながら、本物の自然や文化に出会うことへの価値づけに結びつけていくことを考えています。

また前年度予定していた川上村役場による森と水の源流館の展示改修工事も延期されましたが、そのような経験を生かした、新しい生活様式に適應する展示内容に見直して、新年度で改修工事を実施することとなっています。

新年度は、この法人ならびに森と水の源流館にとって20年目の年となります。引き続き工夫のある活動を重ねながら、学校教育機関等との連携をさらに強め、教材化に取り組むことで、地域の価値が高まるよう取り組んでまいります。

公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供

- ・定例水源地の森ツアー (3回)
- ・団体毎の受け入れ (随時)

2. 森づくり体験プログラムの提供

- ・源流学の森づくり (ボランティアにより2回程度)
- ・関労かわかみの森活動等受け入れ (2回)

3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援

- ・団体毎のエコツアー受け入れ (随時)
- ・学校教育団体支援 (随時)
- ・「森と水の源流館授業づくりセミナー」(近畿ESDコンソーシアム)

4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成

- ・源流人会の運営
- ・会員向け講座(勉強会)の開催(1回)
- ・草刈りボランティアの機会づくり(2回)

公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業

1. 水源地域の自然及び文化を介した交流行事の実施
 - ・源流のつどい
(御船の滝水瀑、ボランティア体験、他地域の環境活動団体との交流)
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、
電子情報媒体の作成
 - ・流域連携・交流、啓発・PR (ESDの視点を強調 随時)
 - ・機関誌『ぼたり』刊行 (3回)
 - ・ホームページメンテナンス (通年)
 - ・森守募金キャンペーン (おはなしカーニバルと連携)
 - ・源流シンクタンクの運営 (適宜)

公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業

1. 水源地域及び流域における参加型観察調査会の実施
 - ・吉野川紀の川しらべ隊 (4回)
 - ・旧白屋地区の定期観察と発信 (各季)
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
 - ・水源地の森自然実態調査 (通年 土壌生物調査)
 - ・水源地の森下層植生調査 (4回)
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実験及び経過観察の実施
 - ・シカ害防止柵や土留め柵設置箇所の観察

公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理
 - ・森と水の源流館管理 (通年)
2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理
 - ・水源地の森管理 (通年)
 - ・水源地の森交流施設管理 (通年)

収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業

- ・ミュージアムショップ事業 (通年)

収益事業Ⅱ 受託事業

- ・和歌山市民の森づくり (和歌山市)
- ・水のつながりプロジェクト (川上村)
- ・ESDの視点をいかした流域連携推進等業務 (川上村)
- ・東京海上日動火災株式会社 Green Gift 地球元気プログラム
(日本NPOセンター)
(いずれも予定)